

■「セミの変身を見よう！」

日時／平成 26 年 7 月 19 日(土)

場所／桜之宮公園 天候／曇り

スタッフ／8 名

参加者／大人 10 名、子供 8 名、合計 18 名

観察内容／今年は梅雨明けを待たず7月初旬から多くのセミが盛んに鳴いていました。このため、観察会の開始前にたくさんのセミが木に登っており、多数の羽化が見られました。ホームページを見て参加された方の中に神戸から参加された母子がおられ、感激しました。

まず、スタッフによる「セミ太郎の一生」の紙芝居を上演したあと、早速、抜け殻集め用のビニル袋と懐中電灯を持って公園の木々の中に入りました。



公園にはケヤキやサクラ、クスノキなどの高木がありますが、今年は特にケヤキで多数のセミが羽化していたように思いました。また、高木でも全部の個体が高いところまで登るわけではなく、適当なところで止まる個体や途中の枝分かれ



したところで羽化する個体も多く、見やすいところで羽化の各段階が見られました。抜け殻調べでは、クマゼミが圧倒的でしたが、アブラゼミの抜け殻も見つかりました。抜け殻は牛乳パックで作った入れ物に入れ、セミの折り紙もしてお土産にしました。最後に、セミの産卵痕をナイフで削り、枝の中の卵の抜け殻を見てもらいました。